



## 第1回 あしや市民フェスタ

平成20年11月21日(金)・22日(土)の両日、市役所北側広場とあしや市民活動センター、市役所会議室等を会場として、「第1回あしや市民フェスタ」を開催しました。各会場には1,336人が参加し、市民活動の発表と交流を繰り広げました。

当日の様子を、一部ですがお知らせします。



●オープニング/「このまちが好き」(手話付)をみんなで歌いました。



●市役所北側広場/障がい者支援団体による授産品バザーは、多くの市民でにぎわいました。



●あしや市民活動センター/NPOと行政との参画協働のあり方を考える、シンポジウム「みんなで創ろう芦屋の未来」を開催しました。

## ♪ たずねたい・参加したい♪

市民活動NPO法人の事業やボランティア活動)を支援する事業として、無料の個別相談、予約制を開催しています。お気軽にご相談ください。

【相談内容】  
●私にできるボランティア活動は？  
●法人格を取得するには？  
●団体の運営に課題が...  
●NPO法人の会計報告は、どのようにすればいいの？  
●活動助成金の申請は、どうすればいいのですか？  
●市民活動センターでは、市民の皆さんの活動を支え、市民活動をより活性化していただくために、専門の相談員が相談をお受けしています。あなたの活動の活性化に、ぜひお役立てください。

### 市民活動に関する各種相談

## あしや市民活動センター 2年の歩み

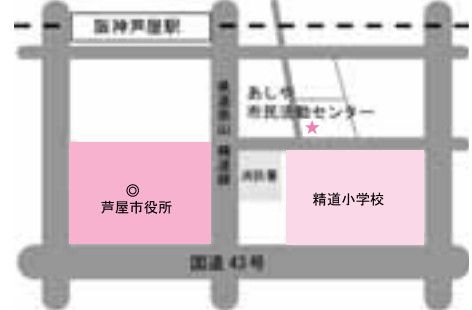
今年こそ、市民活動を始めてみませんか？

問い合わせ 市民参画課 ☎38-2007

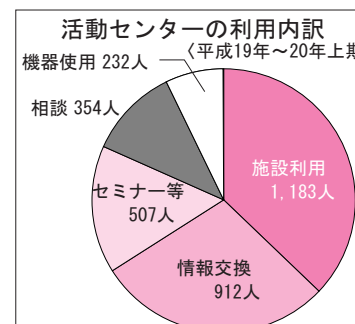
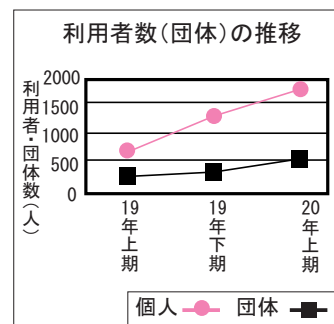
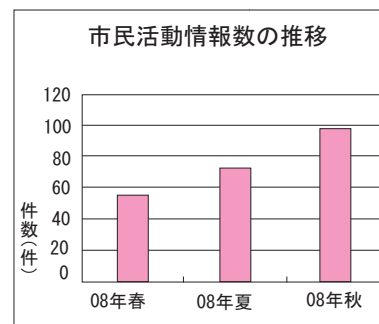
市民の皆さんの、「市民活動団体が顔を合わせ、時には行政も交えて交流や情報交換する場がほしい」との声で、「あしや市民活動センター」が開催されました。あしや市民活動センターは、市民活動団体の情報の収集・提供、交流とネットワークの支援、NPOに関する相談と市民参画協働の推進を開設目的としています。「NPOとNPO、NPOと行政」が繋がれば、真に豊かで個性的なまちづくりができると考え、市民活動をサポートしています。「参画と協働で、生活を楽しく豊かに彩るまち芦屋へ」をコンセプトに、芦屋のまちを最もよく知る「住む・働く・学ぶ」市民のあなたが主人公です。

### あしや市民活動センター 利用案内

- 利用時間 午前10時～午後5時(月～土曜日)
- 休館日 日曜・祝日・振替休日・年末年始
- アクセス  
・市役所東側消防署の北側道路を東へ50m  
・阪神芦屋駅から南東へ徒歩2分
- 連絡先 あしや市民活動センター  
〒659-0064 精道町5-11  
☎57-0511/☎57-0512/✉aia@ashiyanpo.jp  
HPhttp://www.ashiyanpo.jp



### あしや市民活動センター 利用状況



●市役所北館/「いいお産の日ASHIYA」講演会・体験教室を開催しました。



●市役所分庁舎/環境講演会「私たちの宝 芦屋川」は、講師に武庫川女子大学三宅正弘准教授を招き開催。



●あしや市民活動センター/手作りおもちゃコーナーでは、牛乳パックやタマゴなど身近な材料で作るおもちゃ作りを体験しました。



11月21日(金)「第1回あしや市民フェスタ」初日の午後、あしや市民活動センターではNPOと行政との参画協働のあり方を考えるシンポジウム「みんなで創ろう芦屋の未来」が開催されました。このシンポジウムでは、これからの住民自治を進めていく上で、市民と行政の新しい参画協働のあり方について考えようという目標を掲げていました。

会場には、県下の市民活動団体をはじめNPOの実践家、県や

阪神間各市の担当者が一同に会し、県下各市の成功事例などを紹介しながら、これからの本市での参画協働のあり方について意見交換しました。また、11月22日(土)には市庁舎内で、「いいお産の日 ASHIYA」講演会・体験教室が開かれ、若い夫婦や子どもたちが参加しました。また分庁舎では、テレビでもおなじみの芦屋出身の三宅正弘氏を講師に迎え、「環境講演会」を開催しました。

### 市民活動とは...

営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて、市民が自発的・自主的にを行い、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動(宗教活動や政治活動を主目的とする活動は除く)のことです。すなわち、市民活動は、市民の皆さん自らがさまざまなニーズに対応したサービスを提供し、社会的な課題を解決することを目的とした「よりよい社会をつくるための、市民の、市民による、市民のための自発的、自主的な活動」と言えます。

### ティータイム交流会

市民とNPO、団体間の交流のお手伝いをします。  
■日時 1月22日(木)午後2時～4時  
■内容 市民活動助成金の獲得方法  
～NPO法人からボランティアグループまで～  
活動テーマごとに、毎月1回実施しています。  
＜次回予告＞  
2月、14日(土)午後1時～4時に、「語り合おう、シニアと子育て世代 ～バランタインチョコクリ～」

## ♪ 知りたい・知らせたい♪

センター」ができました。入り口近くに並べられているラックには団体紹介のパンフレットや開催のお知らせなどのチラシが入っています。常設展示パネルには、各団体から寄せられたチラシやポスターを掲示し、芦屋市内外で活動する団体の事業案内などをお知らせしています。またセンターに登録されている

情報発信基地としての役割  
市民からの「市民活動情報」を一元化して、情報を発信し、受信できる場がほしいとの声にお応えして、「あしや市民活動センター」ができました。

## ♪ 集まりたい・つながりたい♪

市民活動センターでは、市民活動団体の交流とネットワークづくりをお手伝いします。それぞれが顔を合わせ、話し合えるスペースを提供しています。また、団体の定例会や編集会議にも、活用されています。

### 団体間の交流とネットワーク

せしめたいにも、ご予約図書コーナー以外をお願いしています。  
■コンソースペース 二十人程度までの交流・情報交換・打ち合わせにご利用できます。  
■相談室 十人までの会議が可能。図書コーナー 関連図書の閲覧やインターネット検索ができます。  
コピー機・簡易印刷機(有料)、紙折り機(無料)も備えています。出合いの場づくりとして、毎月一回定例で、ティータン交流会を行います。  
【登録団体】NPO法人ボランティア団体・自治会など、多様な地域・分野の市民活動団体。

### 利用者の声



大塚 進康氏 (日本宇宙少年団)

あしや市民活動センターでコピー機や印刷機を便利に利用させてもらっている若葉町七番自治会です。  
親切に気持ちよく応じていただき、月末の計算書や全戸に配る印刷物を、安心していつも印刷できる事に感謝しています。印刷会の取り組として、第一回あしや市民フェスタに目標を決め、「エコキヤップ」の収集を開始しました。八月から十一月の期間に、約八万個のエコキヤップを集め、カンボジアの子どもたちにワクチン百本、百人の命を助けることができました。若葉町七番自治会 高井澄子



## NHKきょうの料理 ワークショップ 田村隆と後藤繁榮の面白クッキング

子どもを育てる母親向けに、「家庭の味、食の大切さ」を伝える料理教室で、試食コーナーもあります。  
■日時 1月28日(水)午前10時～正午  
■会場 市民センター 多目的室  
■対象 幼稚園から小学生の保護者(100人)  
■講師 「つきぎ田村」三代目・田村 隆氏  
■申し込み 1月20日(火)までに、住所・氏名・電話番号を記入し、ファクスが電話で下記へ



問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998

## 第3回 人形劇フェスタ 芦屋 ～わらおう元気に！歌おういっしょに！～

■日時 2月7日(土)午後2時～3時30分  
■会場 美術博物館講義室  
■内容 「ラッキーの会」・「人形劇団えぶるん」・「人形劇サークルかぶとむし」・「浜南グループ」・「県立芦屋高等学校OG」等による人形劇・紙芝居  
■定員 児童・先着80人  
■参加 当日、直接会場へ  
■参加費 要観覧料



問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432 (観覧料：一般500円 大・高生300円 中学生以下無料)

## 近世大坂文人画の世界 ～関西大学コレクションを中心に～

【展示解説】  
本館学芸員による、レクチャーを行います。  
■日時 1月24日(土)午後2時～3時(予定)  
■内容 文人画の評価  
■費用 要観覧料



## 幼稚園って・・・ ●●●どんなところ？

心も体も たくましい子に  
最近の子どもたちは、体力が低下していると言われています。幼稚園では心身共にたくましい幼児の育成を目指し、保護者に「早寝早起き・バランスのとれた朝食・薄着・うがい手洗い」をお願いしています。  
園では、年間を通じて毎日、体操や運動遊びを活用した活動。また、年少児と年長児との継続した触れ合い遊びをしています。その経験を通して相手の思いや気持ち、遊びの楽しさ、さらに、トラブルの中から楽しく遊ぶためにルールを守る事、折り合いをつけること、素直に謝ることの大切さに気づくようになっています。  
自然との触れ合いも大切に、感性豊かな幼児の育成を目指しています。移り行く季節の中では、木の枝に引っかかった小さな葉や木から落ちてくる葉を見て、「あの葉っぱ、命が、手がしんどくなったから落ちた。あの木、寒そう。」など、感じたことを素直に言葉や体で表現しています。そして、食育の面からは、園庭にある柿やザクロやミカン、育てたさつま芋や大根などを食べ、実りに感謝するとともに、好き嫌いをなくす機会になっています。また、持ち帰ったさつま芋をお弁当のおかずに入れたくんだり、おいしいお芋があがりたと言ってくれたら、うれしいお芋あがりとして、幼稚園の深い愛情に支えられ、幼児は満足です。  
これからも、幼稚園と家庭が連携しあって、幼児の心と体がたくましく育つ環境作りに取り組んでいきます。

問い合わせ 学校教育課 ☎382087

